中日 朝刊 24面
新聞 2017年（平成29年）3月4日（土曜日）

# 卒論テーマはちりゅっぴ

## 愛教大・深谷さん 知名度アップに貢献 効果考察

愛知教育大（刈谷市）地理学専攻四年の深谷侑加さん（二二）＝大府市＝が、知立市のマスコットキャラクター「ちりゅっぴ」が地域の知名度向上にどのように貢献しているかを考察し、卒業論文にまとめた。（土屋晴康）

ちりゅっぴを事例に卒論をまとめた深谷さん＝知立市役所で

論文では「ひこにゃん」（滋賀県彦根市）など全国のご当地キャラブームを分析。知立市経済課の担当者やちりゅっぴグッズを販売する「ギフト座丸八」の加藤敬三さん（六二）らにインタビューし、ちりゅっぴ誕生の経緯や活用法をまとめた。

実際に市の知名度向上に貢献しているか測るために、ちりゅっぴが参戦した「ゆるキャラグランプリ」（松山市）や「世界キャラクターさみっと」（埼玉県羽生市）にも出掛けた。

知立市のブース前で百五十六人にアンケートをしたところ、九割以上の人がちりゅっぴを知ったことで「知立市に興味を持った」と回答。深谷さんは「ちりゅっぴへの興味が深いほど、市の認知度や好感度は上がる」と結論づけた。

大学入学時から、ふなっしー（千葉県船橋市）やふっかちゃん（埼玉県深谷市）など、ご当地キャラ好き。昨年三月から卒論にしようと準備を始め、東海三県の人気投票「ＪＩＭＯキャラ総選挙」で優勝するなど、〝勢いのある〟ちりゅっぴを事例として取り上げた。

「県外の会場でも知らない人が『かわいい』と近づいていた。愛知県を代表するキャラになって活躍してほしい」とエールを送った。